

## 受賞者からのコメント

対象：医学部 2年

医学部解剖学第二講座 講師 永石 歓和

### 「授業を行うにあたって工夫していること」

臨床医としての経験を最大限活用し、学んだ肉眼解剖学がどのように臨床に繋がるのか、解剖と生理的機能がどう関連するのか、病態と関連付けてどのように系統立てて知識を習得するのか、どう応用するのか、等の点を意識しています。縦割りの教科書では学びにくい、横割り・横断的な視点で、実臨床で遭遇する症例等を紹介しながら進めています。

### 「学生への要望・アドバイス等」

学年が進んで病理や臨床医学を学んだ学生から、「もう一度解剖実習をしたい。あの時もっと学んでおけばよかった」という声が良く聞こえてきます。

肉眼解剖学は、将来どのような診療科を選択しても、基礎医学研究の道を選択しても、必ず必要になる「いろはの「い」」です。また、篤志献体してくださった方に対する感謝の気持ちと、将来医師になる責任と自覚を新たにする精神的な成長の機会でもあります。これを意識して、この先も学んでほしいと考えています。自分自身も、ますますブラッシュアップしていきたいと思います。